



## 「特別な日」ではありません

今日2月14日は、「学習の診断」の日でもあり、「バレンタインデー」でもあります。「学習の診断」を真っ先に思い浮かべた人は学習や進路に対する意欲がある人であり、「バレンタインデー」を優先した人は愛について真剣に考えようとしている人かもしれませんね。

バレンタインデー（St. Valentine's Day）は、269年にローマ皇帝の迫害下で殉教した聖ウァレンティヌス（バレンタイン）に由来する記念日であることから、世界各地で男女の愛の誓いの日とされています。その形は、国によって様々ですが、日本では、女性が男性にチョコレートを渡すことによって愛を伝える日として受け止められています。愛するということは人間として大切な心であり、人間らしい心が失われつつある今の時代だからこそ、愛を伝えるという行為はとても素晴らしいことだと思います。

ところが、最近は、上司や同僚などに贈る「義理チョコ」、女性が女性へ贈る「友チョコ」、男性が女性に贈る「逆チョコ」、自分へのご褒美として購入する「自分チョコ」など、様々な展開で消費の活性化が図られています。このように、商業活動が活発になるとともに、マスコミの刺激を受けて、愛を伝えるという行為よりも、チョコレートを渡すという行為だけが目立ち、だれにでも渡したり、催促したりする光景も見かけます。また、「もらった・もらわない」「あげた・あげない」で、人間関係が壊れてしまうケースもよくあります。まるで、チョコレートという商品で、人の心をもて遊んでいるように思えます。

それによく似た光景が、普段の学校生活でも見られます。平気で食べ物を学校に持って来て、勝手に食べたり、友達にあげたりするなどの行為です。そして、そういう人に限って「今日くらい…」「自分だけは…」と自己主張しがります。そんな甘い考えは社会では通用しません。「特別な日」とは、日常の当たり前のことがきちんとできてはじめて認めることのできる日です。

「愛する」とは、「好き」というだけでなく、相手を「大切にする」という気持ちも込められています。この日の意味を本当にわかっているのなら、トラブルを起こしたり、校内でチョコレートを食べたりすることはないはずです。「愛する」ことの意味をしっかりと考える一日であってほしいと思います。

### 第3弾

これまでも、Facebook『心に響く「魔法の言葉（名言）」集』に掲載されている言葉を紹介してきました（※平成24年度「浦島伝説」第31号、第37号参照）。今回はチョコレートの代わりとして、心に響いたらいいなメッセージを贈ります。

- ◆ 継続するということは、同じことの繰り返しではなく、成長し続けること。【クルム伊達公子】
- ◆ 挑戦のためには準備が必要だ。一足飛びで夢や目標は達成できない。階段を昇るように目標に近づくことで、それを実現できるのだ。【長友佑都】
- ◆ 自分にコントロールできないことは、いっさい考えない。考えても仕方ないことだから。自分にできることだけに集中するだけです。【松井秀喜】
- ◆ 夢をつかむことというのは、一気にできません。ちいさなことを積みかさねることで、いつの日か、信じられないような力を出せるようになっていきます。【イチロー】
- ◆ 人に好かれたいなら、人を好きになることだ。優しくされたいなら、優しくしよう。自分を信じてほしいなら、人を信じよう。【ROOKIES】
- ◆ 友情というのは、こっちから向こうへ一方的に与えるもので、向こうから得られる何かではない。友情とは、自分の相手に対する気持ちだ。【ビートたけし】
- ◆ 苦しみを経験するから幸せの有り難みがわかる。苦しむ事は幸せになるためのプロセス。【美輪明宏】
- ◆ 私は人から、成功する秘訣を教えてほしいとか、どうすれば夢を実現できるかと尋ねられます。その答えは、「自分でやってみること」です。【ウォルト・ディズニー】
- ◆ 後悔ってというのは、やってしまったことにするもんじゃなくて、やらなかったことにするものよ。だから私はチャンスがきたら必ずトライするわ。【キャメロン・ディアス】